

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	橋梁維持事業			
予算科目	8 款 2 項 4 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 鍋田 豊樹	
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
事業の必要性	事故を未然に防ぎ安全の確保を図る。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負	【施工場所】	市内一円	
運営方法	【運営方法】		【運営費(予定)】	
事業の目的	市道に架かる橋梁について維持修繕工事を行い通行の安全を確保する。			
事業の内容	市道に架かる橋梁で老朽化したものについて架け替え、修繕を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	愛媛県道路メンテナンス会議により、国土交通省、愛媛県と連携し道路インフラ整備を進めている。			
改善策の 具体的 取り組み	なし。			

事業費及び財源内訳					
項目	26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算	
事業費	直接事業費	21,289	51,730	2,056	50,501
	人件費	2,386	3,217	161	3,217
	合計	0	54,947	2,217	53,718
人件費 内訳	人工数	0.30	0.40	0.02	0.40
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,386	3,216	160	3,216
財源内訳	国庫支出金	11,730	28,857	718	28,857
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	11,945	26,090	1,499	24,861

実施スケジュール								
項目	26年度以前	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降	
旅費	9							
委託費	21,280	44,340	29,500	20,000	25,000	2,765		
工事請負費		4,269	1,000	116,000	93,000	8,000		
手数料		469						
負担金		1,423						
年度別事業費	21,289	50,501	30,500	136,000	118,000	10,765		
財源	国・県支出金	11,730	47,460	15,000	81,600	70,800	6,459	
	地方債							
	その他							
	一般財源	9,559	3,041	15,500	54,400	47,200	4,306	
国・県支出金等名称								0

成果指標				
成果指標	実施箇所÷予定箇所＝実施率			
指標設定の考え方	実施率を上げることにより通行の安全性を確保することができる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
	課題認識	<p>道路橋の維持管理に毎年必要な経費であり、今後さらに経費が増えることが考えられるため、補助金の増額等について、国、県への要望を続けていきたい。</p> <p>また、本事業は第1次総合計画において、基礎的条件の整備(道路・交通基盤の整備)に位置付けられており、本事業の推進により、橋梁の適確で計画的な維持・管理を行い、安全・安心な道路空間を維持形成するとともに、災害に強い道路網の構築を図るものである。</p>		

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
	課題認識	<p>対象となる295橋の定期点検を早期完了を目指し、計画的な修繕設計・修繕工事を実施し、孤立する集落・家屋が無いように努めることが最重要である。そのようなことから、知識の習得のため研修会等に参加させて若手技術者の育成が急務である。</p>		

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の点検が指標となるのであれば、もう一工夫の余地があると思う。 ・利用度等を検討し、見直しも考えてもらいたい。都道府県レベルでの情報交換も含め、より緊密にするといかがか。 ・必要な橋梁については、ライフラインの維持ということで続けていただきたい。 ・国道の橋梁の架け替えを見ると小規模な河川であっても大変な事業となる。ただ必要なものは整備していただきたい。 ・若手技術者の育成という観点で予算確保はぜひお願いしたい。職員採用の必要性を課題認識等にも書いてもよいと思う。 ・将来的に必要なか不必要か検討すべき時期に来ている。費用は少なくなるので早急に課題を解決しないと間に合わない。 ・新設改良事業等に比べるとしんどい事業だと思う。予算が多い少ないと議論する事業ではない。
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>さらに重点化する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>現在295橋の維持修繕を行っており、今後ますます50年が近づく橋梁がたくさん増えてくるため、重点化した対応とすること。</p>